

高岡市美術館開館 25 周年記念 高岡市市制施行 130 周年記念

明治金工の威風—高岡の名品、同時代の名工

2019 年 9 月 20 日（金）－ 10 月 20 日（日）



鈴木長吉《鷲置物》 明治 25 年 東京国立博物館蔵 Image: TNM Image Archives

開館時間 9:30－17:00（入館は 16:30 まで）

休館日 9 月 24 日（火）、30 日（月）、10 月 7 日（月）、15 日（火）

観覧料 一般 1000 円（前売・団体・シニア 800 円）

高校・大学生 500 円（団体 400 円）

中学生以下無料

※団体割引は 20 名以上、シニア割引は 65 歳以上。

※身体障がい者・精神障がい者保健福祉・療育など各種手帳をお持ちの方および付き添いの方（1 名）は観覧料が半額です。手帳をご持参ください。

※前売券販売所：富山大和、アーツナビ（高岡文化ホール、新川文化ホール、富山県教育文化会館、富山県民会館）、高岡市生涯学習センター（ウイング・ウイング高岡 3F）、画材たんぼぼ（砺波店、高岡店）、高岡市美術館ミュージアムショップなど

主催 高岡市美術館（公益財団法人 高岡市民文化振興事業団）

後援 富山県、高岡市、高岡市教育委員会、NHK 富山放送局

特別協力 国立文化財機構文化財活用センター、東京国立博物館

展覧会概要

加賀藩二代藩主・前田利長以来の金属工芸のまち・高岡では、明治時代にはじまる工芸振興の大きなうねりのなかでわざが向上し、高い発信力をもちました。すぐれた技術をもつ作家や職人、銅器商たちによって高岡のわざが発信され、国内外の博覧会などで多くの賞を受けました。

本展では、この威風にみちた時代における金工の名品が勢揃いします。明治期の高岡で生まれた名作を展示して地域の工芸史に光を当てつつ、国際的に活躍した同時代の金工家による仕事も紹介。「東京国立博物館収蔵品貸与促進事業」(*)の一環として行われる本展の目玉は、高岡の名工が制作し明治10年のウィーン万国博覧会にも出品された高さ約127cmの大作(画像①)の里帰り展示です。

ダイナミックな人・もの・わざの交流と洗練の歴史を経て現在まで受け継がれてきた超絶技巧の世界を、お楽しみください。

※東京国立博物館収蔵品貸与促進事業のご紹介

この事業は、東京国立博物館が地方の公立博物館・美術館に対し、地域ゆかりの収蔵品を貸し出し、文化財活用センターが作品の輸送費等を支援する事業です。2019年度は高岡市美術館をはじめ、三重県立美術館、三内丸山遺跡センター、大分県立先哲史料館、千葉県立美術館で開催されます。本事業の募集については、文化財活用センターウェブサイトをご覧ください。



みどころ

高岡の金工、ウラまでわかる

高岡に伝わる作品を多数紹介します。作品の特徴や技法の解説はもちろん、作品製作の経緯が分かる歴史資料や、ふだんは裏からしか見られない銘(サイン)の写真も展示いたします!

あらゆる角度から魅力がわかる、金属工芸の歴史と伝統をもつ高岡ならではの企画です。

明治期金工の名品が勢揃い!

東京国立博物館、東京藝術大学大学美術館 所蔵の作品が、高岡にたくさんやってきます。国際的に活躍した金工家による、絵画のような作品、色とりどりの作品など、金属のイメージがくつがえる匠の仕事を紹介いたします。高岡市美術館所蔵の作品たちと競演することで、明治金工の威風を感じられます。

「超絶技巧」を楽しむ

近年注目が高まっている明治期工芸。そのダイナミズム、精緻さ、華やかさは現代の人々も楽しめるものです。ときに「やりすぎ」?!なデコラティブさとリアリズムをぜひ、生でご覧ください。

明治の名工・鈴木長吉の作品が集合する貴重な機会

高岡出身の林忠正とのコラボで作品製作を行ったこともある鈴木長吉(1848-1919)の作品を一度に見ることができるチャンスです。なかでも、国指定重要文化財《鷲置物》(画像②)とその下絵は、ふだんはそれぞれ東京の別の機関に収蔵されており、同時に見ることもできる貴重な機会となります。高さ約150cmの圧巻の大花瓶もお楽しみに(画像は図録に掲載します)。名工の力量ににご注目ください。

高さ約 127cm。
高岡の名工の里帰り展示

国指定重要文化財。
下絵とともに展示



画像①：横山彌左衛門《頼光大江山入図大花瓶》
明治 6 年 東京国立博物館蔵
Image: TNM Image Archives



画像②：鈴木長吉《鷲置物》 明治 25 年
東京国立博物館蔵
Image: TNM Image Archives



画像③：鈴木長吉《岩上双虎置物》
明治 33 年 東京国立博物館蔵
Image: TNM Image Archives

ちょっとカワイイ?!
名工がつくる虎

リアルに動く人気の「自在」。
その名称のもとになった作品



画像④：里見重義《自在龍置物》
明治 45 年以前 東京国立博物館蔵
Image: TNM Image Archives



画像⑤：二代 横山彌左衛門《武人文大香炉》
明治 10 年 高岡市美術館蔵

高岡市指定文化財。
パリ万博でも展示！

高岡市指定文化財。
細かい彫りに舌を巻く



画像⑥：藤林峯親《獅子麒麟文金銀象嵌花瓶》
明治 10 年 高岡市美術館蔵

関連行事

■記念講演会

日時：9月21日（土） 14:00-15:30
会場：高岡市美術館 地階ビトークホール
講師：黒川 廣子 氏（東京藝術大学大学美術館 教授）
*聴講無料（定員 80 名、当日先着順）

■館長トーク

日時：10月12日（土） 14:00-15:00
会場：高岡市美術館 1階企画展示室
講師：村上 隆（当館館長）
*要観覧券 当日会場にお集まりください

■担当学芸員によるギャラリートーク

日時：9月28日（土） 14:00-15:00
会場：高岡市美術館 1階企画展示室
*要観覧券 当日会場にお集まりください

■会期限定メニュー

ティーラウンジアーク（地階）で会期限定メニューを提供いたします。

広報用画像

本リリースに掲載の画像を広報用に提供いたします。ご希望の方は、掲載作品名・媒体名・掲載予定時期を明記の上、担当者までお申し込みください。

[使用条件] 以下についてご理解・ご協力のほど、よろしく願いいたします。

- ・画像には、作品画像の傍に記載のキャプションを明記してください。
- ・画像のトリミングはご遠慮ください。作品が切れたり文字が画像にかぶったりすることがないように、レイアウトにご配慮ください。
- ・記録のため、掲載誌（紙）、URL、番組収録のDVD、CD等を後日お送りください。

お問い合わせ

高岡市美術館

〒933-0056 富山県高岡市中川 1-1-30

TEL: 0766(20)1177 | FAX:0766(20)1178 | <https://www.e-tam.info>

担当 | 竹内 唯（学芸員） E-mail : y.takeuchi@takaoka-bunka.com

＼当館の情報を発信しています！／

公式フェイスブック

<https://www.facebook.com/takaokaartmuseum>

公式ツイッター

@tam_info

